

■参考 居宅栄養ケア計画書（様式例と記載事例）

氏名： ○ ○ ○ ○ 様		初回作成日： 21年 8月 ○日
		作成（変更）日： 年 月 日
		作成者： 管理栄養士
医師の指示	□なし ■あり（要点 加齢による食欲の低下を防ぎ低栄養状態の改善に向けた指導） 指示日（7/末）	
利用者および家族の意向	一人暮らしが継続できるようにしたい	説明日 21年8月○日
解決すべき課題 （ニーズ）	低栄養状態のリスク ■低 □中 □高 欠食による体重の減少、独居による生活意欲の低下	
長期目標と期間	欠食がなくなり、体重が元に戻る。（6カ月）	

分類	短期目標と期間	栄養ケアの具体的内容（頻度、期間）	担当者
栄養補給・食事	①欠食を防ぐ ②1日の摂取エネルギー・タンパク質を増やす	朝食は無洗米1合を炊く。 週1回 配食は週に2回→4回を増やす。 毎週 朝食に卵を1個を食べる。 3カ月 10時に間食を食べる。 昼食は、主食を大盛りにする。	管理栄養士
栄養相談	③体重回復に役立つ食品を選べるようにする	間食の食物の選択方法や楽しく体重回復できる知識を身につける。（3カ月）	管理栄養士
課題の種別による等	④訪問介護サービス利用時、栄養状態を把握する	週1回は定期的に体重を計る。（毎週） 月1回、在宅での食事摂取状況を確認する。（月1回）	管理栄養士 訪問介護員 ケアマネジャー
特記事項		訪問介護員に体重回復に役立つ職員の選び方の資料を配布（説明）	

栄養ケア提供経過記録

月 日	サービス提供項目
8月○日	①欠食を防ぐ方法を伝達
9月○日	②間食の食物の選択がスムーズになった
10月○日	③体重0.5kg増加。欠食がなくなり、生活意欲増加
10月○日	④訪問介護員の提供する食事内容が変化